

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ニュークリアー・フォージ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ニュークリアー・フォージ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

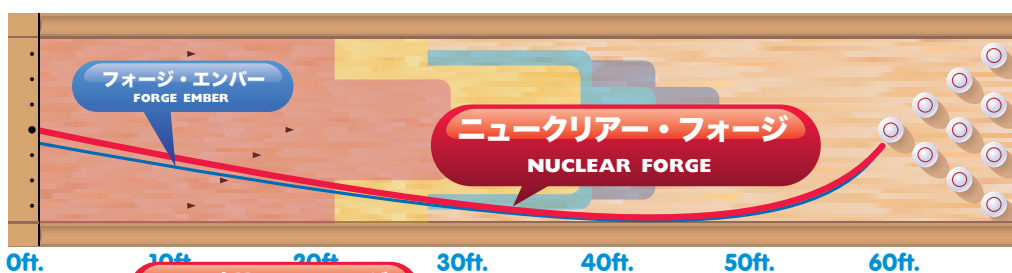
PAPからピンとの距離 **4** インチ

比較対照ボール：フォージ・エンバー

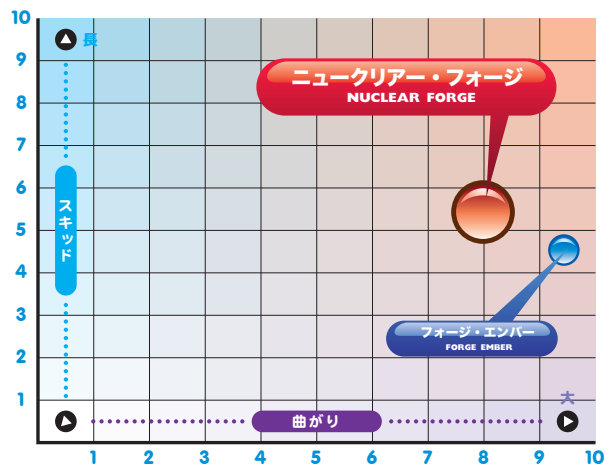
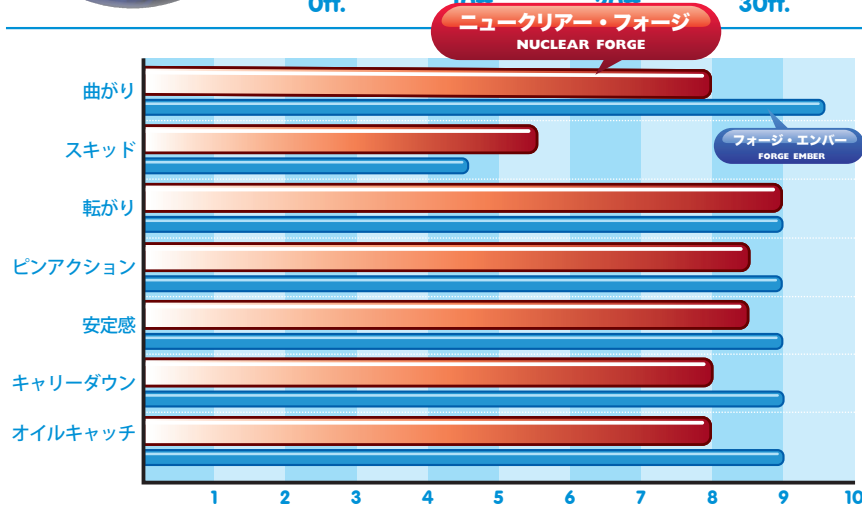
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

様々なコンセプトでヘビーオイルからライトオイルまでをレポートリーとして持つMOTIV社。今まで活躍したボールはSolid素材のものも多く、日本でも人気のあるボールの大多数がSolid素材で曇っているボールというイメージがあります。MOTIVのSolidカバーのボールは非常に手前からのキャッチ力に優れ、曲がりの大きさと比較すれば他社を凌ぐパフォーマンスを持っています。MOTIV社はオイルに強いカバーのケミカル配合をPearl素材に添加させる開発を進めており、“Santtu Tahvanainen`s”のワールドシリーズで勝利した SUPRA RALLYや、EJタケットがTV決勝でパーフェクトを達成した彼自身のモデル”ExJ VIP Sigma”など最近ではPearlカバーストックでの活躍が際立っています。MOTIV社はその活躍を受け、より高濃度のオイルに対応するためのカバーストックの開発に着手しました。それが今回NUCLEAR FORGEに搭載されているPropulsion HVP Pearl カバーストックで、ミディアムオイル対応のRIPCORDER LAUNCHのMVP Pearl、ミディアムライト対応のSUPRA RALLYのDRS Pearlに続く、ミディアムヘビーオイル対応のバージョンになります。RIPCORDERやSUPRA RALLYと違うのは、オイルの捉え方が異なり、走りの中に粘り強さを感じる事です。この粘り強さはオイルキャッチに繋がっていると実感できるものであり、私のようなタイプでもオイルに弾かれてボールが逃げることもなく、5000 Grit LSSでもかなり光沢がある表面仕上げになっています。光沢があるので走りが優先して見えそうですが、強めのPearlなので走りやキャッチのバランスはキャッチが強めに出来ており、Pearl素材のボールでもかなりのオイル量のコンディションまで対応が可能です。

特記事項

手前のオイルが削られ、手前だけ中に寄らなければならない状況下でキャッチ感を出しながら寄らずに対応可能な、現代のレーンコンディションへの対応を網羅した性能でしょう。